

経営比較分析表（令和5年度決算）

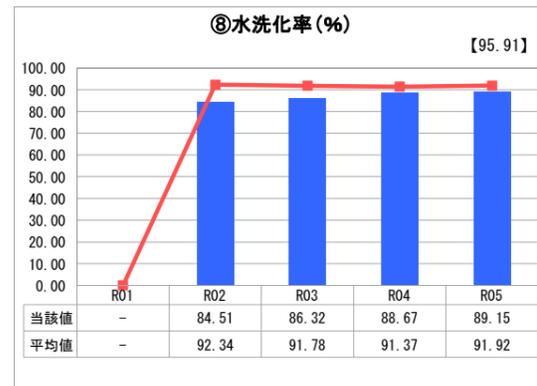
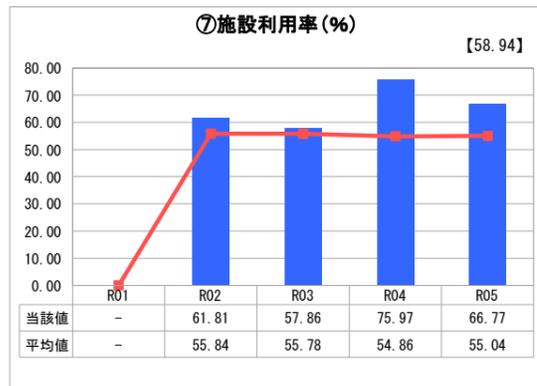
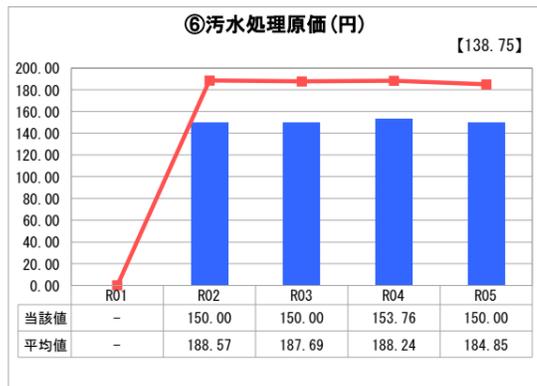
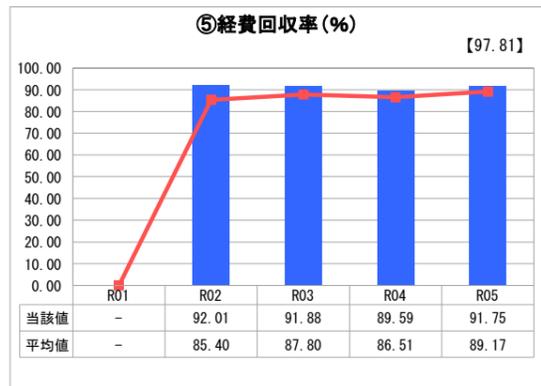
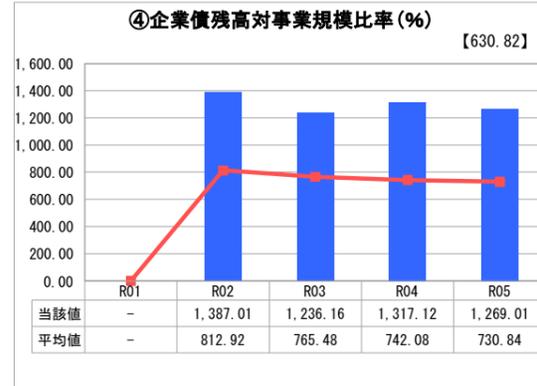
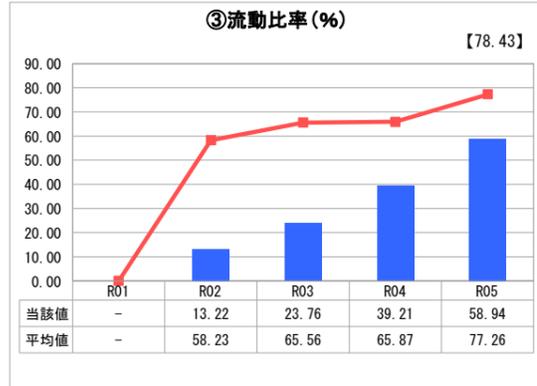
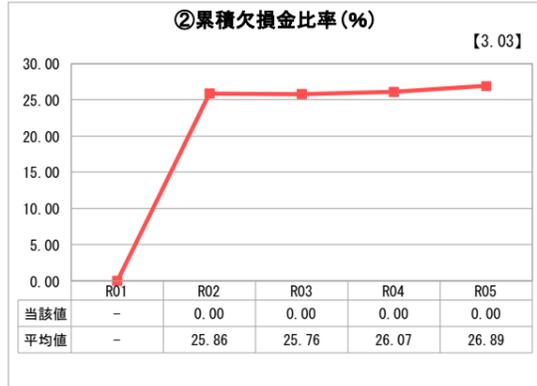
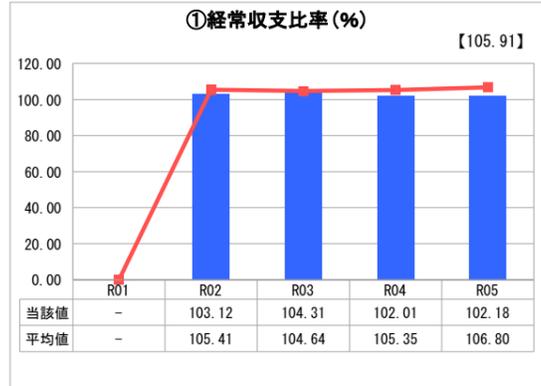
福島県 相馬市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Cd1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	64.85	52.98	71.08	2,860

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
32,842	554.63	59.21
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
17,221	7.92	2,174.37

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



分析欄

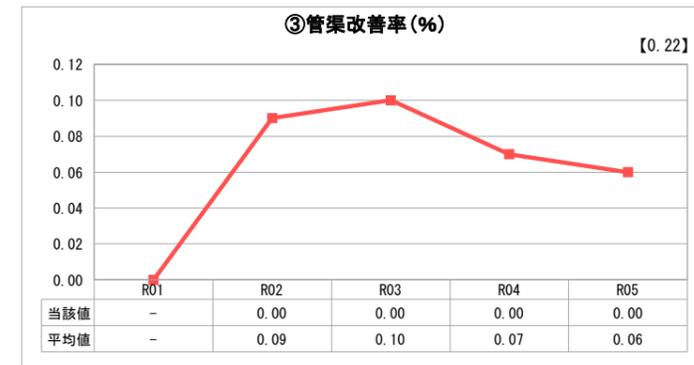
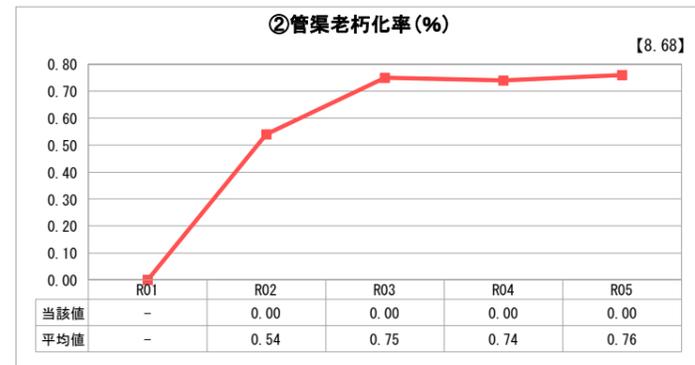
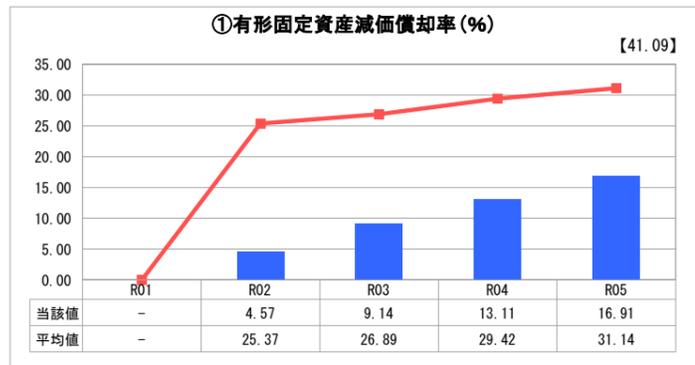
1. 経営の健全性・効率性について

令和2年度から地方公営企業法の財務適用を行った。
 ① 経常収支比率
 前年度に引き続き100%を超えており、一定程度の健全性を確保しているが、類似団体平均を若干下回っている。
 ② 流動比率
 年々上昇しているが、類似団体平均を下回っており、支払い能力を高めるためにも、引き続き経営改善を行っていく必要がある。
 ③ 企業債残高対事業規模比率
 類似団体平均を大きく上回っているため、今後使用料の見直しや維持更新費用の平準化等を図る必要がある。
 ④ 経費回収率
 前年度より微増し、類似団体平均も上回っているが、100%以上となるように今後も汚水処理費の削減等に努める必要がある。
 ⑤ 汚水処理原価
 類似団体平均よりも低い値で推移しているが、引き続き維持管理費の削減等に努め、効率的な汚水処理を継続していく必要がある。
 ⑥ 施設利用率
 類似団体平均を上回っているが、施設の老朽化や処理水量の動向、有収率の推移等を踏まえながら、適切な施設維持に努める必要がある。
 ⑦ 水洗化率
 わずかではあるが、年々増加はしているものの、類似団体平均を若干下回っているため、今後も水洗化率向上への取り組みを行う必要がある。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率
 類似団体平均を下回っているが、供用開始から30年以上経過している管渠施設もあるため、ストックマネジメント計画に基づく点検・調査の結果をもとに、合理的な修繕・改築計画を進めていく予定である。

2. 老朽化の状況



全体総括

引き続き、汚水処理費の削減に取り組みながら、下水道使用料の見直しの検討を進めるなど、今後も、財源確保や維持管理費の適正化のため、コスト意識を持ちながら改善に取り組む予定である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。